

# 事後評価 計画名称 1 北部九州地域における広域的な観光活性化

【事業主体】

熊本県（福岡県・佐賀県・大分県と連携）



## 計画の目標・計画期間

九州新幹線（H23.3全線開業予定）、東九州自動車道（苅田北九州空港IC～行橋IC H25年度完成目標：行橋IC～宇佐IC H26年度完成目標）及び西九州自動車道（唐津IC～北波多IC H23年度完成目標）の開通を契機に、今後、本州方面からの観光客が増大するとともに、九州内での移動効率性も高まり、北部九州地域（佐賀県、福岡県、大分県、熊本県）での観光活性化のポテンシャルが高まると期待される。

また、アジア地域からの観光客が増加傾向にあることも視野に入れ、北部九州地域における交通拠点（新幹線新駅・高速道路IC・空港・港湾等）と景勝地や滞在型観光施設である温泉街などの観光施設との相互アクセス性の向上など、広域的な観光活性化に向けた関連基盤を整備することにより、九州北部地域の活性化を図る。

[平成22年度～平成26年度（5箇年）]

H22	H23	H24	H25	H26
1 北部九州地域における広域的な観光活性化				

道路利用者

バイパスを“約1km”整備し、道路利用者の利便性向上

交差点改良を“1箇所”整備し、交通事故防止や渋滞緩和を推進

舗装補修を“約5km”を整備し、道路利用者の安全・安心の通行確保

## 要素事業の進捗状況

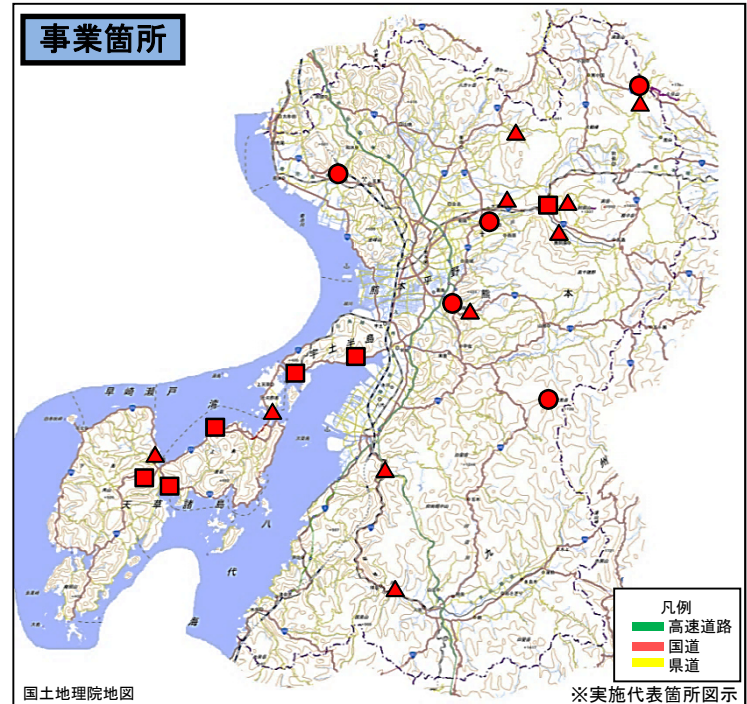
単位：箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施		備考		
				完了	継続			
A: 基幹事業	県	道路改築	●	5	5	3	2	バイパス、現道拡幅
		道路修繕	▲	13	10	5	5	舗装補修、橋梁補修等
		交通安全	■	9	6	1	5	交差点改良、歩道整備等
C: 効果促進事業	県	施設整備	-	1	1	1	0	充電設備設置

## 目標達成状況

指標①	計画の成果目標	九州北部地域（熊本県、福岡県、佐賀県、大分県）の延べ宿泊者数を1,965.1万人(H21)から2,033.2万人(H26)に増加			
	定義及び算定式	九州北部地域（熊本県、福岡県、佐賀県、大分県）の延べ宿泊者数 (九州北部地域内の延べ宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H21の延べ宿泊者数) / (H21の延べ宿泊者数)			
	達成状況		当初現況値 (H21)	最終値 (H26末)	
	バイパス整備については、国道442号・黒川工区ほか2箇所の整備を完了し、交差点改良については、国道266号（亀場橋工区）の整備等を完了した。それに伴い、九州北部地域（熊本県、福岡県、佐賀県、大分県）の延べ宿泊者数増加の目標を達成できた。	目標値	1,965.1万人	2,033.2万人 (3.5%増)	
	実績値	-	3,371.4万人 (71.6%増)		
指標②	計画の成果目標	熊本県内の延べ宿泊者数を495.8万人(H21)から520.6万人(H26)に増加			
	定義及び算定式	熊本県内の延べ宿泊者数 (熊本県内の延べ宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H21の延べ宿泊者数) / (H21の延べ宿泊者数)			
	達成状況		当初現況値 (H21)	最終値 (H26末)	
	バイパス整備については、国道442号・黒川工区ほか2箇所の整備を完了し、交差点改良については、国道266号（亀場橋工区）の整備等を完了した。それに伴い、計画していた事業の進捗状況等により、熊本県内の延べ宿泊者数増加の目標を達成できた。	目標値	495.8万人	520.6万人 (5.0%増)	
	実績値	-	713.1万人 (43.8%増)		

## 事業箇所



## 今後の方針

バイパス事業の県道玉名八女線や現道拡幅事業の県道堂園小森線（布田拡幅）及び交差点改良などの早期整備効果発現のため、H27年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期完了に努める。